



STAKEHOLDER  
ADVISORY  
COMMITTEE

ステークホルダー諮問委員会（SAC）ミーティング議事録  
ー現地 NGO とのステークホルダー・フォーラムー  
リアウ州ケリンチ 2016年1月14日

SAC 委員	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ジョー・ローソン（議長）</li><li>2. アル・アザール</li><li>3. ブディ・ワルダナ</li><li>4. ジェフリー・セイヤー</li><li>5. ルスマディヤ・マハルディン</li><li>6. ニール・バイロン博士（委員候補）</li></ol>
現地 NGO 代表者	<ol style="list-style-type: none"><li>1. プリヨ・アングロ（コミュニティ林業コミュニケーションフォーラム（FKKM） リアウ）</li><li>2. ルディ・ヒダヤット（パルクンプラン・エラン）</li><li>3. リニ・ラマダンティ（社会経済変化研究所（ISEC））</li></ol>
開催日	2016年1月14日
開催地	リアウ州ケリンチ グランドホテル ボノルーム
議題	<p><b>A. SFMP（持続可能な森林管理方針） 2.0 実施・検証についてのディスカッション要旨</b></p> <p>1. NGO 代表は、エイプリル社に、SFMP 2.0 の誓約実施について、わかりやすい「ロードマップ」または工程表を作成するよう要望した。現在、SFMP は個々の取組みごとに段階的に実施されている。</p> <p>2. NGO 代表は、「苦情処理の仕組み」が長期にわたり協議されており、完成時期がはっきりしていないとして、これを早急に完成させるよう同社に要望した。この仕組みは、同社の誓約の実施に関して重要なものである。</p> <p><b>B. 基準・指標に関連するディスカッション要旨：</b></p> <p>1. 指標の最終決定プロセスに女性の関与がない。社会における女性の役割は重要であるため、女性の関与が必要であろう。</p>



STAKEHOLDER  
ADVISORY  
COMMITTEE

2. 既存の指標は、エイプリル社の実績を評価するためのものである。これらの指標は変更・修正の対象とはならないが、各指標のベンチマークは、毎年実施されている監査結果に基づき、修正が可能である。

#### C. その他のテーマ：

1. 企業が灌漑や交通のために用水路を開放・封鎖することで、周囲の河川が涸れたり、火災が起こりやすくなったりする。例：カンパール川の支流であるペララワン川は現在涸れているが、現地コミュニティは企業のコンセッションが水涸れの原因ではないかと疑っている。
2. 企業にコンセッションが付与されたために、失われた生計手段もある。企業はコミュニティに対して、代替となる生計手段、権利擁護、能力開発など、実質的な支援提供の検討を始めるべきときである。
3. 組織運営に関する能力・知識がコミュニティに不足しているため、コミュニティレベルでの組織的な生活用農園の管理は、現在のところうまく進んでいない。管理、維持、分配のそれぞれをできるようにするため、コミュニティの能力向上が必要である。経験ある機関からの協力とアドバイスが必要である。
4. プラウ・パダンの生活用農園開設はコミュニティの利益となるため、早急な実現が求められる。自然林伐採停止というエイプリル社の誓約と関連して、例えば、生活用農園として別の地区を割り当てるなど代替の解決策が必要である。また、生活用農園の割当てが本当にコミュニティの役に立ち、良い影響を与えるものか考慮する必要もある。

#### 次回のステークホルダー・フォーラム会議：

場所：インドネシア、リアウ州

日時：未定